

留萌港は、90年に、中国の営口港と友好関係を結び、友好親善を深めています。

留萌市では、この結びつきを経済分野にまで広げるため、昨年二人の職員を営口に派遣し、中国の経済事情を調査しました。

第一部では、中国での生活について二人に聞いてみましょう。

陽気で賑やかな、茶色い大地

川原 中国の第一印象は、緑が少ないことでした。山がなく、平地と小さな丘陵地ばかりで、まさに「茶色の大地」という感じでした。

熊谷 僕の場合、中国は、とにかく人が多く、賑やかで、話し好きという印象です。バスの中でも、食堂でも、いつでもどこでも、陽気に大きな声でしゃべっていました。

川原 中国人は、まったく知らない人にもよく話しかけてきます。

話すことで出身地や人柄、考え方も聞き取って、自分に害を与える者か利益になる者かを、自然と判断しているようです。

中国語は、ムズカシイ

川原 営口へ出発する前に、約半年ほど中国語(標準語=北京語)を猛勉強して行きましたが、実際には方言やなま

りがあって、聞き分けるのにとっても苦労しました。

でも、漢字で書くとなっていてのこと通じましたから、外出のときにはいつも「紙、筆記用具、日中辞典」を持ち歩きました。

熊谷 中国語をしゃべっていて、ふとした場面で日本人だとわかると「日本人? なぜ中国語、分かる?」と大変驚かれました。



▲平成11年に留萌市に来た邱柯靈さん(左端)と劉元忠さん(右端)。営口滞在中はお世話になりました。

ポリウム満点! 中華料理

川原 本場の中華料理は、味が濃厚で、さまざまな香辛料を使っています。

いろいろな料理に挑戦しましたが、極めつけは、5本の爪が原型をとどめている「鶏の足の唐揚げ」や「ロバ肉を煮たもの」。そうそう、営口名物に「カイコの唐揚げ」があって、これはカイコ3個で卵1個分の栄養価という優れもの

でした。

熊谷 「豚の頭の甘露煮」は、営口で食べた中で、最も高価な料理でした。

最近では海産物がブームで、サワラ、ワタリガニ、シヤコなどが一般家庭の食卓に並んでいます。

食堂では、茶碗にどんご盛りのご飯が1元(約15円)、大皿料理(3〜4人前)が10元(約30元)から15元(約45元)程度でした。

川原 水道水は、飲み水には不向きだったので、飲むときは全てペットボトル。夏場は、冷たいまま食べなければならぬものもあって、三週間の下痢という、荒々しい中国の歓迎を受けました。

営口は大都市だった!

熊谷 営口市は、人口222万人の大都市です。

営口港は「営口開発区」にあり、84年に、当時漁村で何もなかったところに建設されたものです。

開発区は、人口10万人で、まさに港湾のまち。荷物を積んだトラックや列車がひっきりなしに港に入ったり、建設や商取引でにぎわっていました。

川原 わたしたちの宿舎は、営口港務局から歩いて3分の職員用アパートでした。ドアは防犯のため鋼鉄製の二重鍵付きで、安全面での配慮は滞在中、欠かせませんでした。

熊谷 「トイレの水が流れない」「水道の蛇口が壊れる」「電気がショート」。

でも、その度に港務局の職員には大変助けられました。

川原 港務局の仕事は、午前8時半から午後4時半まででした。昼休みは11時半から1時半まで2時間もあつたので、局の食堂で食べた後は、1時間のお昼寝タイムがありました。

車も自転車も人もいっしょ!

熊谷 気候は、大陸性気候で、雨は降りません。降っても夕立のように急に空に暗雲が立ち込め一気に降って、次の日にはまた快晴。だから、中国では天気の話は話題になりません。

夏の気温は30℃前後、冬場は日中でマイナス7℃程度でした。

川原 街は、4〜6車線の幅の広い道路が格子状に並び、歩道も8mほどの広さがありました。人は車道の一番外側を歩き、自転車、人力タクシー、ロバや馬などがいっしょに走って? いました。

熊谷 中国では、基本的に自動車が一番優先なんですよ。

だから運転手はちよつとしたことで、クラクションを鳴らします。自分の前にいるものは、「ジャマジャマ」って感じかな。

川原 信号は自動車も歩行者もなかなか守る人がいなくて、いつも自動車を

かわし、自転車をかわし、人をかわし、四方八方をキョロキョロしながら歩いていました。

熊谷 営口のまわりの周辺には、果物畑やとうもろこし畑が地平線まで広がっていました。

夕暮れ時に、日本で見たこともないほど大きく紅い太陽が地平線に沈む光景は、言葉では言い表せないほどきれいでした。



▲営口開発区の街並。買い物や食事など毎日街に出ては、散策を楽しみました。

人間関係が大切です!

川原 夕方6時を過ぎると、お年寄りが、住宅の周りや街中の広場に集まって、おしゃべりをしたり、太極拳や中国風のダンスをしています。

熊谷 買い物は、値札がなかったり、値段がひどく高かったりするので交渉が必要です。時には最初の値段の10分の1になる場合もあり、慣れてくると

交渉するのが楽しかったですね。

川原 中国では、親戚をとっても大切にするので、両親や兄弟の誕生日には親戚一同が集まり、会食を行います。

仕事上では、人脈が非常に大切で、出世のために、上司や同僚にたえず目配せを行ない、いつも良い関係を保つように努力しています。

熊谷 10月の国慶節(建国記念日)のころには、あちこちで結婚式を行う光景に出会いました。

川原 結婚式のビデオ撮影がすごかった! 市内の観光スポット(公園、海水浴場)で、二人の仲のよさや愛らしさをドラマ仕立てに撮影します。

熊谷 営口港務局職員の結婚式に、二回も出席しました。新郎新婦の紹介の後、固めの杯を、腕を絡ませかわし、互いに記念品を交換して酒宴が始まります。最後に各テーブルに挨拶をしてお酒をついで廻り終了。

川原 それと、中国は今、一大教育ブームです。大学より大学院、博士号、外国留学、各種資格を取得することで、就職に有利であるばかりでなく給料が何倍も違ってくるんです。そのため中学校・高校と進学に有利な学校に生徒も集まり、高い入学金のために親が一生懸命に働く構図になっています。

とにかく、さまざまな日常生活の中に、「中国国民の元気さ」をかいま見て、伸びている国とそうでない国との差がはっきり分かった気がしました。

留萌市職員中国派遣報告 第1部『中国はやっぱり広かった!』 ～ 中国生活体験記 ～

